

2016年度第4回環境科学部フィールドスクール（10/29）

「長崎県の獣害対策—私たちの食、地域、環境を考える」が行われました。

10月29日（土）に行われた第4回フィールドスクールでは、長崎県農林技術開発センターの協力のもと、「獣害問題」とその対策の現状について学びました。最初に長崎県農林技術開発センターにおいて、専門家より野生動物の研究調査や最新の技術研究について解説をいただき、自然環境から社会生活にまで影響を与える獣害問題について体系的に学習しました。その後長崎県の特産品の一つであるミカンの生産地、諫早市多良見町（野川内地区）のミカン園を訪問し、農家の方々より獣害対策を協力して行うことの大切さや苦勞などについてお話を伺いました。さらにミカンの収穫体験や、防護柵の補修体験もさせていただきました。



野生動物の調査体験（長崎県農林技術開発センター内）



獣害問題やイノシシの生態について学習



農家の方々より獣害対策の苦勞や秘訣について伺う



防護柵の補修（諫早市多良見町ミカン園内）